

子どもの生活実態調査や地域の子育て団体等の調査について ～調査項目の設定について～

1 事業概要

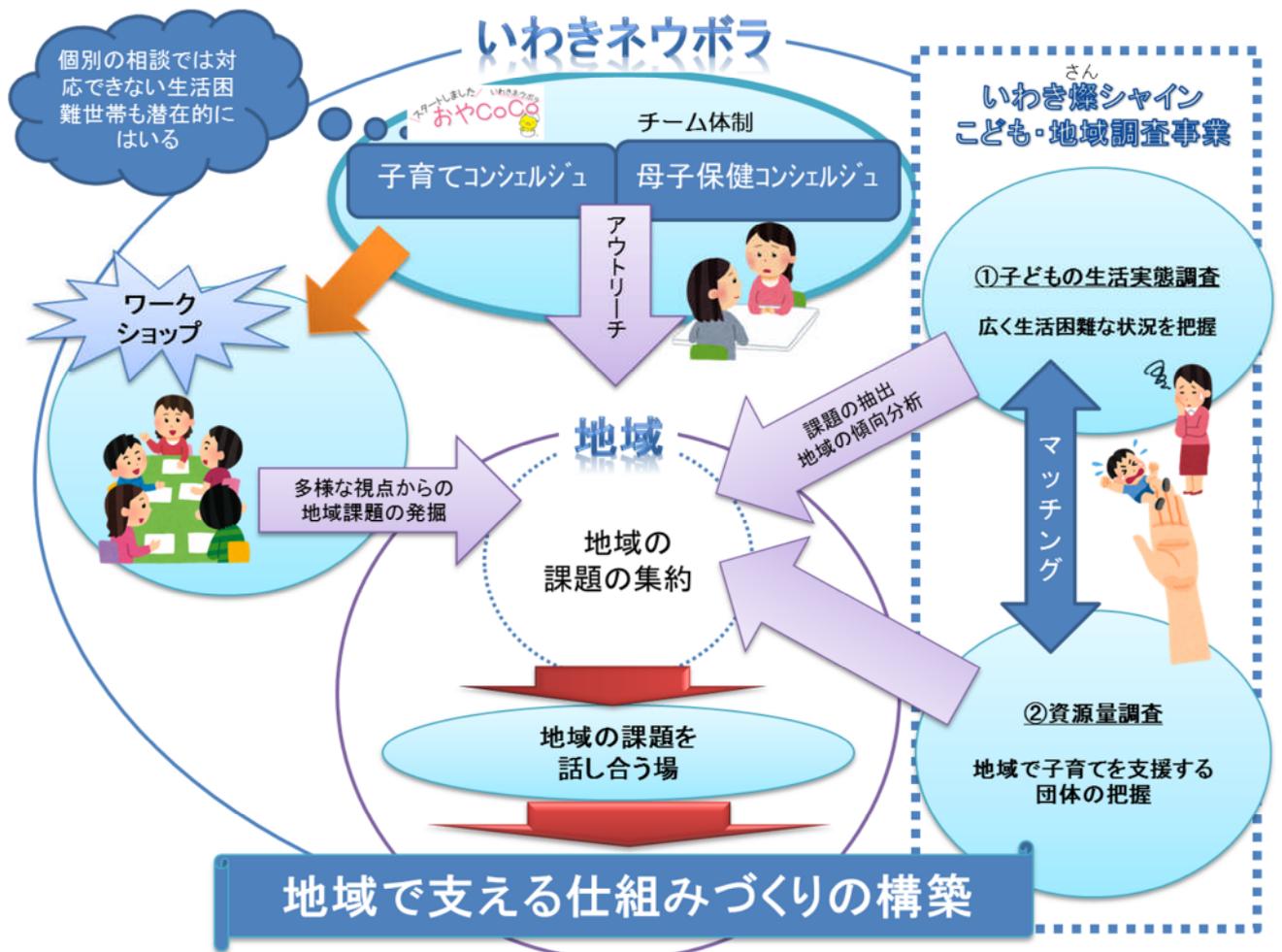
いわきネウボラの深化に向け、本市における子どもを取り巻く環境の現状・課題を把握し、子育て支援施策に資することを目的に、①子どものいる世帯へのアンケート調査（子どもの生活実態調査）及び②市内の支援団体の調査（資源量調査）等を実施する。

2 前回協議を踏まえた補足

本市としては市内の子どもの生活実態、さらには、生活困難な状況にある家庭の課題を把握し、地域で支える仕組みづくりにつなげていくための調査を実施するにあたり、前回の分科会において事業概要等を説明をしたところであるが、この案件単体の協議に留まり他の類似な調査、県の調査などを踏まえての視点であることなど全体を捉えての協議とする必要があった。

このため、補足として今回は全体像や生活困難世帯の定義などについて説明を行った上で調査項目について、改めて協議を行うもの。

(1) 全体像（イメージ）



(2) 子どもの生活実態調査事業の主な特徴

- ・大人と子供それぞれに調査を実施
- ・他の調査と比較し、より生活困難度に着目した項目を設定。
- ・生活困難世帯を定義し、一般世帯との比較分析を行う。
- ・地域資源について広く調査を行う。

実施団体	主な事業	児童(就学後)						大人(保護者)						備考 (対象者等)		
		学習 や進学	生活習慣 健康	放課後の 過ごし方	家族との 関係や友達 との関係	悩み事、心 理面での 課題	支援ニ ズ、資源	就業状 況	生活習慣 健康	子ども に関する こと	周囲の 人との 関係性	教育に 関する 関与・ 関心	悩み事 心理面 での課 題		収入・家 計の状 況・制 約の状 況	支援ニ ズ、資源
市	子どもの生活実態調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小学5年生、中学2年生及び保護者
市	ニーズ調査 (こどもみらいプラン) ※就学児童保護者	/	/	/	/	/	/	○	○	○	○	○	○	○	より生活困難度に着目	就学児童(小学生)の保護者
市	ニーズ調査 (こどもみらいプラン) ※中学2年生	/	○	○	○	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	中学2年生
市	健康いわき21	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	全世代
県	福島県子どもの貧困に関する実態調査	/	/	/	/	/	/	○	○	○	○	○	○	○	○	子どもがいる世帯

(3) 「生活困難」世帯の定義の考え方

本調査では、生活困難世帯について、所得額だけでなく家庭環境全体で把握すべきであると考える。

定義の方法について、他市の事例を踏まえ、東京都等で採用されている方式を採用する。

(東京都方式)

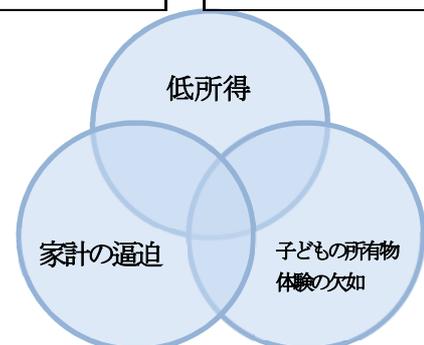
所得以外に2要素(所有物や経験)を加え困窮世帯を判別する。

- 要素① 世帯所得が厚労省の調査による相対的貧困基準(約140万円)未満に該当する世帯
- 要素② (経済的理由で)「生活必需品の非所有」や「一般的に体験する経験の欠如」に該当する世帯
- 要素③ 支払い困難経験ありに該当する世帯

⇒これら3つの軸のうち、2つ以上該当する子どもを「困窮層」と判別

低所得	子どもの所有物・体験の欠如	家計の逼迫
等価世帯所得が厚生労働省「平成29年度国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯 (基準は世帯所得の中央値442万円÷√平均世帯人数(2.47人)×50%=140.6万円)	子どもの体験や所有物などに関する以下の15項目のうち、金銭的な理由・経済的な理由で、欠如している項目が3つ以上 1 海水浴や山に行く 2 博物館・科学館・美術館に行く 3 キャンプやバーベキューに行く 4 スポーツ観戦や劇場に行く 5 遊園地やテーマパークに行く 6 毎月お小遣いを渡す 7 毎年新しい洋服・靴を買う 8 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる 9 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう) 10 お誕生日のお祝いをする 11 1年に1回くらい家族旅行に行く 12 クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる 13 子どもの年齢に合った本 14 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ 15 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	経済的な理由で、公共料金や家賃を支払えなかった経験、食糧・衣服を買えなかった経験 1 電話料金(携帯電話含む) 2 電気料金 3 ガス料金 4 水道料金 5 家賃 6 家族が食糧を買えなかった 7 家族が衣類を買えなかった

生活困難層	困窮層	2つ以上の要素に該当
	周辺層	いずれか一つの要素に該当
一般層		いずれの要素にも該当しない



3 子どもの生活実態調査の調査項目の設定について

調査にあたっては、次の項目を念頭に調査項目を設定する。

- ① 市内の子どもがいる世帯のうち、「生活困難」の状態にあると考えられる層がどのくらい存在するか
- ② 「生活困難」の状態にあると考えられる世帯の保護者・子どもは、学習の状況や健康状態、人間関係、地域との交流状況、自己肯定感などの各方面でどのような課題を抱えているか（抱えやすいか）
- ③ 保護者が抱える課題等は子どもの生活状況などにどのように影響するか
- ④ 市が実施している施策の認知度、利用度、利用意向の把握
- ⑤ 地域の子育て資源の認知度、利用度、利用意向の把握
- ⑥ ①～⑤の傾向は地区によって傾向に違いが生じるか

4 調査項目について

○保護者用調査項目(案)

分類	No.	設問	県 実態調査	ニーズ調査 ※就学後
属性	1	居住地区	○	○
	2	回答者の属性（子供との関係）	○	○
	3	婚姻状況	○	○
	4	世帯構成	○	○
	5	就業状況	○	○
生活健康 習慣	6	健康状態の認識	×	×
	7	保護者の朝食の状況	×	×
子どもとの 関係性	8	子どもとの関わりの状況	×	×
	9	子どもと接する時間（平日・休日）	×	×
	10	子どもとの体験・活動について	×	×
	11	子どもの自身の体験・活動などについて	○	×
相手談	12	子どもに対する評価・認識	×	×
	13	近所付き合いの状況	○	○
	14	相談相手の有無	○	○
教育に 関与・関心	15	相談相手	○	○
	16	子どもの進学に関する期待	○	×
	17	子どもの進学に関する期待（理由）	○	×
家計の 状況	18	子どもの将来の相談	○	×
	19	子育てに関する悩みなど	○	○
	20	世帯の年間収入	○	×
	21	暮らし向きへの認識	○	×
	22	食料の不足	×	×
	23	衣類の不足	○	×
	24	不払いなどの有無	○	×
	25	物質的剥奪の状況	○	×
支援 ニーズ、 資源	26	情報入手の方法	×	×
	27	公的機関への相談の状況	○	○
	28	支援制度などの利用の状況	○	○
	29	利用経験がある支援などの施設名や活動実施団体など	×	×
	30	保護者自身の支援ニーズなどの状況（自由記述）	×	○

○児童用調査項目(案)

分類	No.	設問	県	ニーズ調査 ※中2
生活習慣・ 健康	1	性別	△	○
	2	起床時間	△	○
	3	就寝時間	△	○
	4	朝食の状況	△	○
	5	健康状態の自己認識	×	○
家族との 人間関係	6	夕食を食べる相手、孤食の状況	△	○
	7	仲の良い友だちの有無	×	×
	8	相談相手	×	×
居場所・ 放課後	9	小学生になる前の経験・親子関係	×	×
	10	放課後誰と過ごすことが多いか	×	×
	11	放課後どこで過ごすことが多いか	△	○
	12	居心地が良い居場所はどこか	×	○
学習 状況	13	放課後児童クラブの利用状況（※中学生は部活動の参加状況）	×	×
	14	学習時間	△	×
	15	学習時間（勉強をしない理由）	×	×
格差・ 剥奪の 状況	16	子ども目線での物質的剥奪の状況	×	×
	17	日常生活の過ごし方	×	○
悩みごと、 心理 面での 課題等	18	悩んでいることや心配なことなど	×	○
	19	将来の夢の有無	×	×
	20	夢の内容	×	×
	21	夢がない理由	×	×
支援 ニーズ	22	自己嫌悪感、将来意識等	×	×
	23	意欲や協調性等	×	×
	24	居場所や学習支援等に関する支援ニーズ	×	×
	25	自由記述での回答	×	×

※設問文は別紙参照

※△は保護者に対する調査項目の中で設定

(参考)分析項目(一例)

分類	No.	項目	保護者設問関連項目		児童用設問関連項目	
生活困難層との比較	1	生活困難層の割合			No.	設問
	2	起床時間・就寝時間	10	子どもとの体験・活動について	4	朝食の状況
	3	朝食欠食率 孤食の状況	20	世帯の年間収入	2	起床時間
	4	子どもの放課後の過ごし方	21	暮らし向きへの認識	3	就寝時間
	5	近所付き合いの状況	22	食料の不足	4	朝食の状況
	6	学習時間・読書冊数	23	衣類の不足	5	健康状態の自己認識
	7	将来の夢	24	不払いなどの有無	19	将来の夢の有無
	8	意欲(逆境に負けたくないと思う意思)	25	物質的剥奪の状況	20	夢の内容
家庭の状況 ひとり親	9	ニーズの把握	3	婚姻状況	6	夕食を食べる相手、孤食の状況
	10	子どもの状況	4	世帯構成	17	日常生活の過ごし方
	11	近所との付き合いの状況	12	子どもに対する評価・認識	18	悩んでいることや心配なことなど
生活状況 子どもの	12	保護者の子どもとの関わり状況が子どもの意欲や将来の夢に与える影響	8	子どもとの関わり状況	4	朝食の状況
	13	子ども運動の状況について(外遊びする機会は多いか等)	9	子どもと接する時間(平日・休日)	17	日常生活の過ごし方
	14	上記の状況は朝ごはんの摂取状況などと関連するか	10	子どもとの体験・活動について	22	自己嫌悪感、将来意識等
小5と中2 の比較	15	子どもとの関わり状況	7	子どもとの関わり状況		
	16	生活習慣の変化	8	子どもと接する時間(平日・休日)	22	自己嫌悪感、将来意識等
	17	将来意識や意欲や協調性等	9	子どもとの体験・活動について	23	意欲や協調性等
把握 ニーズ	18	保護者の子育て情報の入手先の把握	26	情報入手の方法		
	19	居場所づくりのニーズの把握	27	公的機関への相談の状況	18	悩んでいることや心配なことなど
	20	保護者・児童のニーズの把握	28	支援制度などの利用の状況	24	居場所や学習支援等に関する支援ニーズ
	21	地域資源の利用状況	29	利用経験がある支援などの施設名や活動実施団体など	25	自由記述での回答
	22	新たな地域資源の発掘	30	保護者自身の支援ニーズなどの状況(自由記述)		
の地域比較 毎	23	地域毎に回答傾向に違いがあるか	13	近所付き合いの状況	24	居場所や学習支援等に関する支援ニーズ
	24	地域毎のニーズの把握(居場所など)	30	保護者自身の支援ニーズなどの状況(自由記述)		

◎今後のスケジュール

今回の児童福祉専門分科会で出た意見等を踏まえ、5月中に調査票を作成し、7月中(夏休み前)に調査・回収を実施する予定です。